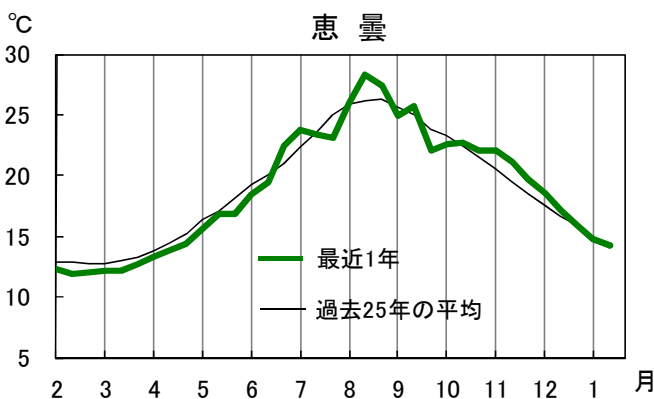
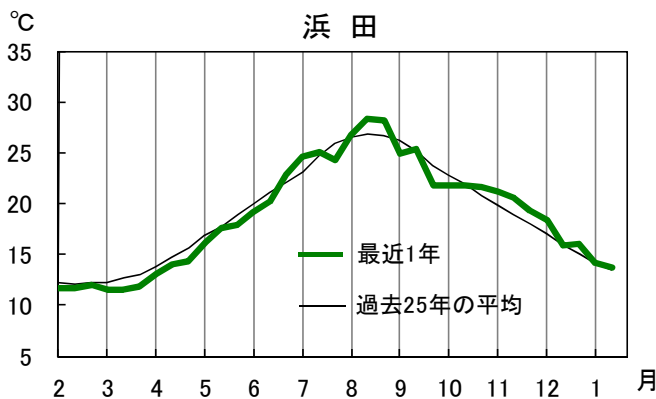




《12～1月の海況》

12月	月平均	平年差	評価
浜田	16.7℃	+0.7℃	やや高め
恵曇	17.3℃	+0.5℃	やや高め

沿岸定地水温は、浜田地区では12月は上旬が「かなり高め」、中旬が「平年並み」、下旬が「やや高め」で推移しました。恵曇地区では12月は上～中旬が「かなり高め～やや高め」でしたが、下旬は「平年並み」でした。1月は中旬時点で両地区とも「平年並み」で経過しています。



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ主体の漁況でした。その漁獲量は平年の1.3倍でした。一方、サバ類は平年の2割に止まりました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。マアジは平年の3.6倍、サバ類は平年の1.5倍と好調でした。12月は時化による荒天休漁が多く、全地区とも出漁日数が平年の7～8割に止まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ主体（全体の99%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は159kgで平年を上回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ主体（全体の82%）の漁況に切り替わりましたが、ケンサキイカ（全体の14%）も混じっています。1隻1航海あたりの漁獲量は94kgで平年を下回りました。海水温が平年より高めの傾向であったため、12月に入ってもケンサキイカ漁が継続したようです。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではキダイ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は13.7トンで、平年並みの水揚げとなりました。ソウハチは好調に推移し、平年の1.8倍の水揚げがありました。また、キダイ、アンコウも平年の1.3～1.4倍の水揚げがありました。一方、ムシガレイ、アナゴ類は平年の8割の水揚げに止まりました。特にアカムツは平年の3割の水揚げに止まり、低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではソウハチ主体、久手地区ではマダラ、ソウハチ主体の漁況でした。両地区とも時化の影響で出漁日数が平年の6～7割となりましたが、1隻1航海あたりの漁獲量は、平年並み～やや上回る状況となりました。両地区ともマダラの漁獲量が増加し、平年の1.7～2.7倍の水揚げとなりました。また、アナゴ類、アカムツも好調に推移し、平年の1.9～2.9倍の水揚げがありました。一方、キダイ、アンコウは低調であり、アンコウは平年の6～7割程度、キダイは平年の2～4割の水揚げに止まりました。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ、サワラ類、ブリ、カマス主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比はマアジが7.3倍、サワラ類が7.2倍、ブリが2.5倍と好調で、全統の総漁獲量は平年の2.7倍となりました。出雲地区ではマアジ、ブリ、サワラ類、カマス主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比はマアジが1.9倍、ブリが1.2倍、サワラ類が1.4倍、カマスが1.9倍と好調でしたが、スルメイカ、カワハギ類が平年の10分の1程度であったため、全統の総漁獲量は平年の8割に止まりました。隠岐地区ではスルメイカ、ソウダガツオ類、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比はサバ類が8.3倍と好調でしたが、スルメイカが6割程度に止まったため、全統の総漁獲量は平年の7割に止まりました。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、クロマグロ、サワラ類、ケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は29kgで平年並みでした。出雲地区ではブリ、ケンサキイカ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は35kgで平年並みでした。隠岐地区ではメダイ、スルメイカ、ケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は34kgで平年を上回りました。

【平成 23 年 12 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	244 トン	76%	59%	16.3 トン	101%	82%	○
	西郷	マアジ、サバ類	5,443 トン	371%	167%	115.8 トン	181%	200%	◎
	浦郷	サバ類、マアジ	2,825 トン	346%	120%	80.7 トン	178%	156%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	34 トン	677%	570%	159 kg	222%	241%	◎
	西郷	スルメイカ	4 トン	589%	19%	94 kg	121%	53%	▲
沖合 底びき網	浜田	キダイ	370 トン	90%	95%	13.7 トン	87%	105%	○
小型 底びき網	久手	マダラ、ソウハチ	99 トン	71%	56%	722kg	99%	99%	○
	和江	ソウハチ	212 トン	72%	76%	948kg	96%	113%	◎
定置網 (大型)	浜田	マアジ、サワラ類、ブリ	4 トン	99%	103%	1,051kg	696%	475%	◎
	美保関	マアジ、ケンサキイカ、カマス、サワラ類	96 トン	91%	75%	1,106kg	86%	78%	▲
	浦郷	スルメイカ、ソウダガツオ類、マアジ	26 トン	56%	84%	1,001kg	61%	96%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、クロマグロ、サワラ類、ケンサキイカ	11 トン	91%	41%	45 kg	126%	86%	○
	大社	ブリ	13 トン	110%	51%	36 kg	116%	71%	○
	西郷	メダイ、スルメイカ、ケンサキイカ	7 トン	169%	59%	40 kg	118%	84%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは平年比を－とした